

官民連携 東京都消費生活総合センターと連携 悪質商法から高齢者を守るリーフレット配布を実施 9 月 1 日より 東京都内で約 10,000 枚を弁当配達時に配布

株式会社シニアライフクリエイト（本社：東京都港区、代表取締役：高橋洋）が運営する高齢者専門宅配弁当『宅配クック ワン・ツウ・スリー』は、東京都消費生活総合センターが実施する「悪質商法注意喚起プロジェクト」
([悪質商法注意喚起プロジェクト（令和 7 年度）](#) | [東京くらし WEB](#))に参加し、高齢者向け注意喚起のリーフレットを 9 月 1 日より随時配布しています。



＜配布するリーフレット＞

◆“顔なじみ”の配達員からの注意喚起により“自分ごと”としての意識を高めてもらう

『宅配クック ワン・ツウ・スリー』は現在、全国で約 110,000 人（うち東京都内は約 11,000 人）の利用者に毎日※1 お弁当を届けています。また、お弁当の配達時には、必ず声かけを行っており、利用者である高齢者との信頼関係を築くことによって安全ネットワークに参画することを目指しています。

今回の注意喚起のリーフレットの配布という取り組みは、単にお弁当と共にリーフレットをお届けするだけではありません。配達員は普段から、お弁当配達時の安否と声かけを通じて“顔なじみ”になっている利用者とお弁当を渡す際に色々な会話をしています。今回のリーフレットを悪質商法の手口などについての会話と共に手渡しすることをきっかけに、身近に起こっている消費者被害に対し、“自分ごと”として意識を高めてもらう一助になりたいという想いをもって取り組んでいます。なお、同プロジェクトには 2016 年より参加し、今年で 9 回目となります。

※1 正月三が日（1 月 1 日～3 日）のみ休業

◆都内の消費生活相談件数の 3 割以上が高齢者で 47,182 件

2025 年 7 月 30 日発表の「令和 6 年(2024)度消費生活相談概要」によれば、東京都内における高齢者(60 歳以上)の相談件数は 47,182 件で、対前年度比 8.5%増加し、高齢者の相談が全相談に占める割合は 35.6%と前年度よりも増加しました。また、高齢者の平均契約金額は 101 万円となっており、59 歳以下の 103 万円とほぼ同等となっています。(契約当事者が 70 歳以上の相談は 30,759 件で対前年度比 111.6%と増加、平均契約金額は 109 万円。)

配布するリーフレットには、悪質商法の手口を紹介した漫画や消費者ホットラインの電話番号が書かれており、「怪しいな」と感じたときに相談するきっかけにして欲しいと東京都消費生活総合センターは考えています。しかし、高齢者の中には、なかなか相談に踏み出せない方もいるため、利用者との会話の中で配達員が違和感を覚えた場合は、相談を促すことも想定しています。

参照：令和 6(2024)年度 消費生活相談概要

[令和 6 年度消費生活相談概要 | 7 月 | 都庁総合ホームページ](#)

◆『宅配クック ワン・ツウ・スリー』は“向こう三軒両隣”、ちょっとおせっかいな弁当屋

『宅配クック ワン・ツウ・スリー』の理念は、“全てはご高齢者のために”。古き良き時代の“向こう三軒両隣”の気持ちで、ご家族になれなくてもお隣さんにはなれる、という心を持って日々お弁当を宅配しています。毎日顔を合わせる“顔なじみ”だからこそ、高齢者の大切な財産を搾取する悪質商法には普段から心を痛めており、こういった被害を防ぐ取り組みには東京都だけでなく全国各地で積極的に参加しています。

当社では、今後も地域の見守りプロジェクト等に積極的に参加し、高齢者がいきいきと暮らせる環境づくりに貢献して参ります。

【会社概要】

会 社 名：株式会社シニアライフクリエイト

代 表：代表取締役 高橋 洋

本 社：東京都港区三田 3 丁目 12 番 14 号 ニッテン三田ビル 6F

電話番号：03-5427-3981

ホームページ：<https://slc-123.co.jp/>

創 業：1999 年 12 月

資 本 金：5,000 万円

事業内容：1) 高齢者専門宅配弁当「宅配クック ワン・ツウ・スリー」フランチャイズ本部の運営

2) 高齢者施設向食材卸事業「特助くん」の運営

3) 高齢者向コミュニティサロン「昭和浪漫倶楽部」の運営

4) 高齢者施設向厨房受託事業「結の台所」の運営

5) 個人向通販事業「健康直球便」の運営

＜本件に関するお問い合わせ先＞

株式会社シニアライフクリエイト 担当：鳶(しま)

TEL：03-5427-3981(直) FAX：03-5427-3982